

令和元年度地域青年農業者グループ活動活性化助成

事業主体名 OSAKI 輝け実行委員会

1 目的

女性農業者が輝き、仲間と共に農村地域を元気にすることを目的に大会開催や、大崎町の農産物を活用した農家レシピ開発に取り組み、大崎町の農業の活性化につなげる。

2 実施状況

(1) 大崎町の農業女性の意向調査実施

大会の内容と大崎町農業女性の会（こすもす）の今後の活動に反映させるため、会員及び大崎町の農業女性に調査を4月に実施。アンケートの結果、大崎町の農業女性の課題として、「家族の理解」、「情報を得る機会」、「意識向上」等があることが分かった。また、組織として取り組みたい内容として、「時短料理」、「発言力」が挙げられた。今後の取り組む内容とした。

(2) 大崎町の農業女性の課題解決に向けた取り組み

- ・ファシリテーションを用いた勉強会を開催

「発言力」に関連した勉強会を4月に実施した。Soo Womans Farmers 会長の橋口まゆ氏を講師として、これまでの10年をふり振り返り、今後の大崎町農業女性の会の活動についてファシリテーションの技術を用いて意見を共有した。

- ・自己分析及び想いを言葉で伝える講座を開催

OSAKI 輝け実行委員会主催で「輝く女性をデザイン！想いを伝えられる私になる講座」を11月に開催。キャリアコンサルタントの矢野圭夏氏を講師として、発言力向上につながる講座を実施した。自分の気持ちと向きあい、自分が思う「輝く女性」とはどんな人かを言葉にし、そのために出来ることを考え、発表した。発言することの大切さを認識できた。



(3) 大崎町の農産物を使ったレシピ集作成

- ・大崎町の女性農業者の方々に、家庭で作っているおすすめレシピと時短レシピを募集。37品のレシピを集めることができた。

(9月)

- ・大崎町の菜種油「やったね菜ったね！」を利用したレシピ検討。指宿いわさきホテルのシェフの協力のもと、大崎町の特産物を活用したレシピを創作、試食。当日は5品の菜種油を活用したレシピができた。(10月)
- ・集めたレシピを皆で調理し、写真に撮り、分量等を確認した。(12月)
- ・レシピをPC入力、見やすいものにするため掛けられるようにリングに綴じた。(2~3月)



(4) 大崎町農業女性の会のロゴ、ユニフォーム作成

- ・ロゴについて、皆で意見を出し合いイメージを決め、鹿屋市の農業女性の方にデザインを依頼。完成した3パターンのロゴから、ユニフォームに載せるロゴを決め、ユニフォームを作成した。(2月)



3 今後の課題、取り組み

大会前の事前アンケートの結果、大崎町の農業女性の課題として、「家族の理解」、「情報を得る機会」、「意識向上」、「発言力」等があることから、引き続き今後の農業女性の活動のテーマとし、今後もファシリテーションを用いた研修を開催し、発言の機会を作り発言力の向上に繋げたい。また、今回作成した大崎町の農産物をつかったレシピ集やロゴユニフォームについては、今後活動する中で農産物を販売するためのPRとして活用し、大崎町の農産物を知ってもらえる機会を増やすことで販売促進につなげたい。